

HAKUBA

# 議会だより

9月定例会号

令和6年10月31日発行

## 150号

第1号\_昭和62年9月15日発行



第100号\_平成24年4月27日発行



photo: 味の素の方・渡部選手と白馬保育園の子どもたち。スノーピークにて味の素(株)と連携協定を締結!

- 令和5年度の決算特別委員会 ..... 2~3
- 本会議場での質疑・討論 ..... 4
- 常任委員会 ..... 4~5
- 議決結果一覧 ..... 6
- 村政を問う 一般質問 ..... 8~14
- トピックス (祝150号発行によせて) ..... 15
- 夢・私たちに。[わたしのひとこと] ..... 16



photo: 歴史を刻む「議会だより」の表紙  
37年前にスタートしました

- 令和5年度の決算特別委員会 ..... 2~3
- 本会議場での質疑・討論 ..... 4
- 常任委員会 ..... 4~5
- 議決結果一覧 ..... 6
- 村政を問う 一般質問 ..... 8~14
- トピックス (150号発行によせて) ..... 15
- 夢・私たちに。[わたしのひとこと] ..... 16



# 議会の視点で課題を検証

財政調整基金等は最高額を達成するも財政は硬直化

## 令和5年度 一般会計決算の状況

歳入 **70億7,159万円**

歳出 **69億1,596万円**



実質単年度収支

1億549万円の黒字

経常収支比率

80.1%

実質公債費比率(3カ年平均) 15.6%



決算委員長報告

### まちづくり

- Q 空き家推定モデル実証実験事業は、結果を次につなげ移住・定住施策に持っていけるのか。
- A 特定空き家になる前の段階で、空き家バンク制度に登録できれば、移住・定住施策につながっていく。
- Q 景観行政団体になってからの違反件数とその内容は。
- A 初年度の令和5年度では、届出件数141件のうち3件に違反。違反の内容はすべて色。今年度からは景観パトロールを強化している。
- Q 水道料金改定の見通しと、これから先の更新等費用はどう考えているか。
- A 更新し続ける必要があるとの試算から今後も定期的に見直しする。効率よく更新するために、国が推奨する官民連携手法の「ウォーターPPP」導入を考えている。



### 防災

- Q 子ども用ミルクなどの備蓄は、課同士が連絡を取り計画的にしているか。また、学校には防災備品はあるのか。
- A 子ども用は連携なしに福祉の観点だけで、子どもの数を計算し購入している。学校備蓄の防災食は中学に少しあるが、毛布やベッド等の防災備品はない。協定事業者も活用しながら備蓄を考えていく。

## 観光

**Q** 観光課の予算は委託が非常に多い。外部委託に出した業務が、観光課が要求しているものに仕上がっているかの成果が見えない。ガバナンスを効かせ、成果が見えるようにするべきだが。

**A** 成果を計る制度設計を今後検討していく。少し時間をいただきたい。

**意見** DMO見直しや、制度設計に残された時間は、宿泊税の導入までがタイムリミットと考える。



## 農政

**Q** 中山間直接支払制度は期末で25年。対象地区が該当は分かるが、一方で緩傾斜地の北城中部は荒れ放題になっている。100分の1勾配で該当するなら対象となるのでは。

**A** 緩傾斜地も交付対象になるのか関係要綱を確認し、次期の計画に役立てたい。

## 暮らし

**Q** 村のごみ量の数値を見える化して、各市村のごみ量を比較しながら実態をもっと村民に知らせ、目標を設定し減量を進めてほしいが。

**A** 生活ごみは減っているが、事業系ごみが増えている状況。比較できる数値化とともに、公式LINEや街頭啓発等により周知していく。



分別が課題。燃えるゴミに分別されないまま出された結果、最終処分場に埋め立てられる焼却灰の中の金属ごみ。

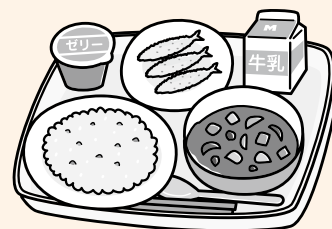
## 教育・文化

**Q** 学校給食の物価高対策は。

**A** 白馬村は公会計としているため、結果的に村が不足分1千万円を補填した。

**Q** オリンピックレガシー施設の収入増のため、早く検討委員会を立ち上げ、庁内だけではなくプロポーザルを活用して、発想を変えて利用度を上げてほしいが。

**A** 収入増のためには、スポーツ以外の発想で考えていく必要があり、村主導だけでなく事業者とタイアップして活用方法を考える。



# 広域の「虹の家」運営難 村の管理運営費が負担増に

主な議案の審査内容を掲載します。

議案第39号

## 北アルプス広域連合規約の変更

### 議案の概要

介護老人保健施設「虹の家」の運営について、市町村負担が必要になり、広域連合規約の別表に管理運営費の項目を追加し、市町村の負担割合を人口割100%と規定するもの。

Q

これから配慮が必要となる17名は白馬の方なのか。

A

「虹の家」には白馬の方は3名。要介護度が3以上であるため17名には入らない。ケアマネなどと連携し入所先を考えていく。また、年間15名程度のショートステイでの利用の方も特養での対応が可能かも知れ、他施設での対応を検討している。

Q

令和6年度は負担額の試算が出ているが、今後をシミュレーションするとうなっているのか。

A

今回の補正は令和6年度半期分。先々の数字はまだ出ていない。

議案第43号

## 令和6年度白馬村一般会計 補正予算(第3号)所管事項

### 議案の概要

歳入歳出それぞれ2億765万6千円を増額し、歳入歳出予算の予算総額を70億7695万3千円とするもの。

【総務課関係】

指定管理者の変更に伴う施設改修工事請負費118万8千円の増額。企画一般事業991万円の増額は、白馬村地域経済循環創造事業補助金が主なもの。

Q

白馬村地域経済循環創造事業のジェラード店への活用は、個人事業であるが公費を負担するのか。また、採択事業だと思うが、すでに採択されているのか。

A

この事業の採択の前提として、地域の資源の有効活用としての地域モデル性、あるいは全国のモデル性になる事業しか採択されないという中で、現在申請している段階で採択には至っていない。結果は9月末までに再質問が届き、審査後に最終結果が明らかになる。

Q

ノルウェービレッジは、現在土日は閉めている状態。もったいないと考えるが。

A

指定管理の採択にあたり観光局の提案にそのような記載があった。土日の開館に向けて人員を確保し安定的に開館できるように指導する。

【子育て支援課関係】

子育て支援施設建設事業の測量調査委託220万円の増額。

Q

今回の委託料は基本設計で、これ以外に実施設計がかかるということではないのか。

A

今回の費用は調査関係の設計で、来年度基本設計で考えている。

議案40号

## 長野県後期高齢者医療 広域連合規約の変更

### 反対討論

加藤 亮輔

紙の保険証を令和6年12月2日から新規発行しないとする議案。現在使用の保険証の方が安心で使い勝手も良い。マイナ保険証の利用率は、11.1%と、10人に1人しか使っていない。紙の保健証は残すべき。

議案42号

## 白馬村国民健康保険条例 の一部を改正する条例

### 反対討論

加藤 亮輔

全国18の地方紙の合同アンケートでは、現行の保険証を廃止してマイナ保険証だけ18.3%。マイナ保険証の導入に反対42%。2つの保険証の選択制39.8%。今の保険証の継続希望81.8%なので、改正に反対。

意見

土地利用も含めて、今後の基本設計とか実施設計をばらばらに発注してデザインの統一性が取れないことにならないようにしてほしい。

意見

実績の豊富な県内の設計事務所を選定していただきたい。

# 40年間改定が無かった 水道料金改定へ

議案第41号

## 白馬村水道事業及び下水道事業条例の一部を改正する条例

### 議案の概要

持続可能な事業経営を行うべく適正な料金水準による給水収益の確保を目的として、水道料金等を改正するもの。

Q

今後も料金を上げる可能性は。財政の健全化をどう考えているのか。

A

今後20年は上げる試算となる。また有収率の改善や水道水の商品開発、事業費の削減など健全化を図り、5年ごとに見直していくが、上げ幅を抑えていく努力はする。

Q

加入人口数の増加分をどの程度見込んでいるのか。収益はどのくらい上がるのか。

A

口数は増えているが、水量的には、減っていく見通しで試算している。また年間7000万円から9000万円の増収を見込んでいる。

議案第43号

## 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第3号)所管事項

概要は右ページ議案43号と同じ

### 【農政課関係】

八方地区スキー場へのナラ枯れ被害木伐倒負担金等に398万円。

Q 負担金の支出方法について基準を示

A

さないと不公平ではないか。スキー場は違った考え方になるのか。

スキー場は多くの方が利用する施設。リスク管理を考え、スキー場がやることに対しては負担をする。原則所有者責任ということ念頭に置きながら、危険が伴うリスクの管理は村が優先して行う。

### 意見

ナラ枯れは村民の間でも問題視されている。しかし、基本的に山は全て村のものではなく、個人所有もある。山を所有している方にも管理に協力してもらうために、早めの注意喚起をお願いしたい。

### 【観光課関係】

二次申請で採択になったことによる財源組替の、デジタル田園都市国家構想交付金事業の800万円減額によるものが主なもの。

Q

デジタル田園都市国家構想交付金について、5年計画で通らなかった事業はもととどういった事業なのか。

A

チャージドリフトに乗ることができ「白馬カード」その場でふるさと納税ができる仕組みづくりの事業。5年計画が採択されなかったため、縮小させ3年計画になった。

### 【建設課関係】

昨年10月10日に起きたロータリー付き除雪機械の点検搬送時に、先端ロータリー部落下事故破損による新車購入費3619万円の増額が主なもの。

Q

破損したロータリーの査定額は348万円だが、相手方との話し合いはこれからするか。

A

損害額を算定されているため、損害賠償で請求する方法はあるが、相手方は過失を認めない状況であるため、協議をして行く中で、有利に買い替えるといった方向で歩み寄りたいと考えている。

Q

すぐに発注をかけたとしても冬までに間に合うのか。

A

今シーズンには間に合わない。機械の更新時期であったため新車購入の方針にした。



詳細はHPに掲載の各委員長報告をお読み下さい。

※各委員長報告は、正式に公開される「会議録」と違い、審議内容（発言）を要約し纏めて本会議場で発表する原稿として編集されたものです。



← 審査結果の一覧は、6ページをご覧ください。

# 9月定例会 議決結果

○…可決 ×…否決

| 番号     | 件 名                                | 決算特別<br>委員会 | 総務社会<br>委員会 | 産業経済<br>委員会 | 議決結果                 |
|--------|------------------------------------|-------------|-------------|-------------|----------------------|
| 報告第4号  | 損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について          | 委員会付託なし     |             |             | 報告事項                 |
| 承認第12号 | 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第2号)の専決処分報告について   |             |             |             | 承認                   |
| 議案第38号 | 白馬村辺地対策総合整備計画の変更について               | -           | ○           | -           | 可決                   |
| 議案第39号 | 北アルプス広域連合規約の変更について                 | -           | ○           | -           | 可決                   |
| 議案第40号 | 長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について            | -           | ○           | -           | 可決<br>(反対:加藤<br>(亮)) |
| 議案第41号 | 白馬村水道事業及び下水道事業条例の一部を改正する条例について     | -           | -           | ○           | 可決                   |
| 議案第42号 | 白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例について          | -           | ○           | -           | 可決<br>(反対:加藤<br>(亮)) |
| 議案第43号 | 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第3号)              | -           | ○           | ○           | 可決                   |
| 議案第44号 | 令和6年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)    | -           | ○           | -           | 可決                   |
| 議案第45号 | 令和6年度白馬村水道事業会計補正予算(第1号)            | -           | -           | ○           | 可決                   |
| 議案第46号 | 令和6年度白馬村下水道事業会計補正予算(第1号)           | -           | -           | ○           | 可決                   |
| 議案第47号 | 令和5年度白馬村水道事業会計未処分利益剰余金の処分について      | ○           | -           | -           | 可決                   |
| 議案第48号 | 令和5年度白馬村下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について     | ○           | -           | -           | 可決                   |
| 認定第1号  | 令和5年度白馬村一般会計歳入歳出決算認定について           | ○           | -           | -           | 承認                   |
| 認定第2号  | 令和5年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について | ○           | -           | -           | 承認<br>(反対:加藤<br>(亮)) |
| 認定第3号  | 令和5年度白馬村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について    | ○           | -           | -           | 承認                   |
| 認定第4号  | 令和5年度白馬村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について   | ○           | -           | -           | 承認                   |
| 認定第5号  | 令和5年度白馬村水道事業会計決算認定について             | ○           | -           | -           | 承認                   |
| 認定第6号  | 令和5年度白馬村下水道事業会計決算認定について            | ○           | -           | -           | 承認                   |

## 請願・陳情

| 番号    | 件 名                                           | 総務社会<br>委員会 | 産業経済<br>委員会 | 審議結果 |
|-------|-----------------------------------------------|-------------|-------------|------|
| 陳情第3号 | 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情                    | ○           | -           | 採択   |
| 陳情第4号 | 大町の裁判所の充実を求める協議会の設立及び活動に関する陳情                 | ○           | -           | 採択   |
| 陳情第5号 | 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書 | ○           | -           | 採択   |
| 陳情第6号 | 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情                       | ○           | -           | 採択   |
| 陳情第7号 | 訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書    | ○           | -           | 採択   |
| 陳情第8号 | 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての陳情  | ○           | -           | 採択   |

## 追加議案 (9月19日上程)

| 番号    | 件 名                                            | 議決結果 |
|-------|------------------------------------------------|------|
| 発委第5号 | 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書                    | 採択   |
| 発委第6号 | 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書 | 採択   |
| 発委第7号 | 国民健康財政への国庫負担の増額を求める意見書                         | 採択   |
| 発委第8号 | 訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書     | 採択   |

# 一般質問

## 村政を問う

安全で活力ある  
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

### 質問者一覧

#### 2組織あるDMOを統合すべきでは

津滝 俊幸 ..... 8

#### 農業の現状と施策、将来の未来像は

増井 春美 ..... 9

#### 無許可営業の調査は足で稼ぐのか

尾川 耕 ..... 10

#### 最重要課題としている財源確保策は何か

太谷 修助 ..... 11

#### 戦争時代の生活・教育を示す副読本作成を

加藤 亮輔 ..... 12

#### 誰でも気軽に行ける里山整備を行う考えは

加藤 ソフィー ..... 13

#### 広報DXは中途半端！情報発信少なすぎ

丸山 勇太郎 ..... 14

### フォトニュース



10月17日。40周年になる姉妹都市の太地町の議員の方々が、視察に来られた。午前中は賑わう岩岳を視察、午後は議会のペーパーレス化等の進め方について話し合いを行った。

## 問 2組織あるDMOを 統合すべきでは

**答** 事業効率化は有力な選択肢のひとつ、検討する



津滝 俊幸

【DMO事業の推進状況と検証】

**問** DMO認定の更新手続きや観光庁への実績報告の内容、及びHVT（ハクバレーツーリズム）観光局それぞれの現在の事業状況は。

**答** HVTは3市村共通する「食・食材」を企画テーマにしたツアーを企画検討中。観光局ではグリーンシーズンの初夏と秋を中心にプロモーションを進め、年間入込数の平準化を目指している。

**問** 地域の稼ぐ力を引き出すために、目指すべき目標や事業達成の資金調達方法は。

**答** HVTでは宣伝誘客情報発信プロモーションを通してグリーン期のインバウンド客の増加。通年での観光消費額の拡大。リフト券発券業務の受託による手数料収入や自治体からの負担金が主な資金。

観光局は国内外の誘客、登山や麓の楽しみ方のプロモート、マーケティングデータの収集蓄積による観光客への利便性向上へのDX化。資金調達ではふるさと納税業務、着地型観光ツアー商品の造成やオリジナル商品開発の販売、宿泊手配による手数料収入が主なもの。

**問** 村長の公約や観光地経営計画とDMO事業の整合性は取れているか。

**答** DMOでは四季を通じて付加価値の創造、幅広いメディアの積極活用と多言語による発信、自らのトップセールスなど。観光地経営計画では理念「世界中からの来訪者迎える事が出来る村の実現」や基本方針「通年型リゾートへシフトする」、更には実施事業「安全啓発などの受け入れ環境整備」においても整合性がとれていると考える。

## 問 白馬の歴史・文化・芸術を活かす では

**答** 観光では一番弱いところ、しっかり取り組む

【トレッキング・サイクルーリズム・エコツーリズムなどによる観光振興】

**問** 現在、通行不可の大雪ルートに代わるトレッキングルートの新設は。

**答** 新ルートは、過去に検討はされたが結論は出なかった。2シーズン通行止めが続いたことにより、検討を再開するよう担当課へ指示した。

**問** 山案内人・観光ガイドの普及増員は。

**答** 登録者数は山案内人111人、観光ガイドは98人。山案内人組合へ新たな人材確保が可能となるよう育成プログラムの確立とその強化をお願いしている。

**問** 八方池山荘建替計画の進捗状況と猿倉荘の建替構想は。

**答** 官民連携による施設整備を行う。令和7年度末までに連携事業者を決定し契約。令和8年4月から設計・建設期間とし、令和11年10月頃供用開始予定。

**問** サイクルツーリズムの普及と広域サイクリングコースの新設は。

**答** 自転車関連のイベントは年間10以上開催されており更に推進していく。県内複数のルートがあり、コースの新設予定は無い。



ベストツーリズムビレッジ・BTV  
JSTS-D（観光庁が2020年に策定した「日本版持続可能な観光ガイドライン」）  
この称号に値する観光地となれるよう願います。

**問** 地域の文化・歴史の活用によるエコツーリズム推進は。

**答** 持続可能な観光地を目指す上では重要なコンテンツと認識している。出来ることから観光活用に繋げていく。



増井 春美

## 問 農業の現状と施策、将来の未来像は

## 答 人口減少社会に見合った施策に取り組む

【農業の現状と対策】

**問** 「農地利用の意向に関するアンケート」の調査結果を受けての見解は。

**答** 本村でも将来的な農業経営者の減少が浮

き彫りになった。地域で生産した農産物を地域で消費するという基本を大切にしながら、観光地として改めて農業者のために人口減少社会に見合った農業施策に取り組む重要性を感じている。

**問** 農家基本台帳の農家総数と農地の賃貸による契約状況は。

**答** 農家総数は3000戸。農地バンク（農地中間管理機構）に貸している農家は162人、借りている農家は8人。利用権設定契約で貸している農家は87人、借りている農家は27人。他に農地を違う方に貸す農地法による契約がある。

**問** 鳥獣被害の現状と対策は。

**答** 令和4年度、本村の野生鳥獣の被害額は50万円で、上昇傾向となっている。最終的には、専門家による罠、猟銃による駆除を行う。

**問** 耕作放棄地の面積と対策は。

**答** 昨年度実績によると、再生利用可能なA分類が12.5ha、再生利用

が困難なB分類が20.1ha。但し、調査しきれない耕作放棄地もあると思われるため、実際には調査面積より大きいと考えている。耕作放棄地を増やさないために、北城地区のほ場整備事業、農振農用地の見直しに取り組んでいる。

**問** 地域計画・目標地図策定の進捗状況と小規模農家や周辺住民への周知は。

**答** 進捗状況は、本年6月から8月に開催した懇談会では、神城・北城中部・北城北部地区に分け認定農業者や関係者に参集いただき、地域ごとの現況地図をもとに話し合った。今後地図の修正を行い、11月開催予定の懇談会ではなるべく多くの方にお声がけをし、地図素案を示す予定。その他、1月頃までに修正作業を行い2月に告知したい。

**問** 令和7年4月以降に農地の賃借は、農地バンクに移行になるが村の考えは。

**答** 法定事項なので肅々と事務を進める。

**問** 市民農園の現状と今後の計画は。

**答** 白馬高校の東側で実施している。1区画100㎡、1シーズン500円。本年度は12区画で農園を開設。将来例えば、減農や有機に特化した農園を設置できればと考えている。

**問** 村長が目指す農業の未来像は。

**答** 小さな農業や趣味で行っている農業でも、しっかりと将来にわたって続けたいけるような村になっ

ていけるよう望んでいる。目指す未来像は、慣行農法、有機農法、自然農法といった形態とか営農規模の大小にかかわらず、お互いを尊重しながら行う生業、生きがいとしての農業、美しい里山を作り上げているという、昔ながらの農業という言い方もできるかもしれない。行政としては、国の方針に従いつつ法を守りながら、振興することが重要であると考えている。



白馬の原風景を後世に～ 青鬼の棚田で唯一「はざかけ」された田んぼ

# 問 無許可営業の調査は 足で稼ぐのか

**答** 必要なものは全てやることが  
大切



尾川 耕

## 【宿泊事業者の実態調査】

**問** 神奈川県の「旅館業法  
施行条例」のような標  
識の設置が義務付けされてい  
る条例(下図参照①)を、長野  
県に作ってもらうよう働き  
かけを行わないのか。

**答** 税務課長 宿泊税の関  
係で県とのやり取り  
がある。その中で神奈川県の  
ような設備基準として設け  
ること。宿泊施設の休止、廃  
止等の整備徹底をお願いし  
ようと考えている。これから  
県にお願いしていく。

**問** 「武蔵野市旅館業者の  
責務等に関する条例」

提言している。その部分を  
しっかりやってほしい。足  
で稼ぐのか、条例をつくるの  
か、どちらか。

**答** 村長 どちらかという  
選択ではない。必要な  
ものは全てやるのが大切。  
大切なのは実態をきちんと  
把握して、正直者が損をする  
ことのないようにしていく  
ことが最重要。例えば、条例  
を作ったが、それに反して  
やっている場合はどうする  
のか、しっかりとチェックす  
る体制も整えなくてはいい  
けない。そうした観点から一  
番いい形に持っていきたい。  
ただ、理解いただきたいのは、  
限られた人材でやっている  
ので、優先順位をつけながら、  
我々もできる努力をしっか  
りとしていく。

(下図参照②)は、住民が陳情  
して3ヶ月で条例を作った。  
県に頼らなくても市町村条  
例で作ることは可能。このよ  
うな村条例を作るのか、それ  
とも県の条例改正をするよ  
うに、訴えていくのか。

**答** 観光課長 第一義的に  
は、県にお願いすると思  
う。ただ、庁内の協議が必要  
な部分もあるので、課長会議  
の中で協議していきたい。

**問** 6月に議会から村長  
に提言書を出した。宿  
泊税導入に関する提言の4  
番「課税データ、保健所の  
データに加え地域の聞き取  
り、さらに足で調査して正確  
な実態を把握してください。」  
と書いた。そして「議会とし  
ては、行政は、その努力なし  
に宿泊税を導入することは  
できないものであり…」と

## 問 今後、塩の道を どう活かして いきたいか

**答** 活かしていきたい  
気持ちは非常に強  
くある

【都市計画マスタープラン・景観計画と次期総合計画】  
**問** 次期総合計画作りの  
中で住民の熱を帯び  
た意見が沢山でくる。その  
熱量を活かせるような仕組  
みをつくってほしい。例え  
ば塩の道の活かし方などが  
出るのでは。今までの各計  
画内では、支援をするとい  
言葉は書かれてあるが実態  
が伴っていない。次の総合  
計画を作っていく間に、しっ

**答** 今、担当者は非常に熱  
を入れてやっている。  
地区懇談会との兼ね合いも  
含めて住民参加型を念頭に、  
良い景観にしていければと  
いうふうに思っている。しっ  
かりと取り組んでいきたい。

### 参照①\_ 神奈川県・旅館業法施行条例

●宿泊施設の玄関等に「標識」を掲示する県条例がある。営業者が常駐しない建物の場合連絡先を記載する欄が設けられている。



箱根町 HP ヘリンク



武蔵野市 HP ヘリンク



| 旅館業の施設名称     |                   |
|--------------|-------------------|
| 許可番号         | 第 04 号            |
| 所轄自治体の取付る連絡先 | (国庫費が保証しない場合のみ記載) |

### 参照②\_ 武蔵野市の旅館業ルール

●武蔵野市には「保健所」が無いので「旅館業法施行条例」を作ることができない。よって責務条例として整備している。なお、東京都の「施行条例」には、標識の設置等の義務は書かれていない(長野県と同じ)。

白馬村が条例を作る場合、長野県条例(神奈川県に倣う)で作ってもらうか、武蔵野市と同様に作るか、どちらかの選択肢がある。



太谷 修助

## 問 最重要課題としている 財源確保策は何か

答 宿泊税・登山協力金・事業者負担金が3本柱

「インバウンド事業の現状と課題」  
村内の外国籍所有の不動産物件の実態は。  
土地が845筆、299件で412、418㎡。

家屋が359棟で242件。うち宿泊施設は188棟。これらの数値は、国外に住所、所在地を有する個人・法人の所有状況なので、国内に住所のある外国籍の方の数値は含まない。

問 大型建築申請件数は。

答 開発審議会で諮っているのは1件、担当者レベルでの相談は10件程度と認識。

問 行政区のコミュニティ維持困難問題はどのように解決していくか。

答 インバウンド等での不動産売買により、日本人住民の減少で行政区への加入者、コミュニティの担い手が減少してしまうという点では、宿泊施設の多い地域で、同様の課題を抱えているところが複数見受けられる。現状、不動産規制は困難であることから国には引き続き問題を提起し要望していく。

村としては、新たな加入者には引き続き、行政区への加入や地域活動への協力を依頼。また、積極的に地域コ

ミュニティに参加・協力している外国人住民も一定数存在することから、可能な範囲で英語による情報発信や、地域への理解を促していく取り組みを継続していきたい。

問 インバウンド傾斜化の弊害、特に飲食難民対策は。

答 村の観光に弊害があるとの認識はしていないが、今冬季シーズンにおける観光客受け入れ環境整備については、国内観光客にとっても満足度を高める重要な施策で、観光課では予約比率を高めることが混雑緩和につながるとして、昨年度からテーブルチェックという飲食予約サイトで村内の希望する飲食店と結びついている。予約人数も7万1千件を超える大きな成果が出た。宿泊事業者からも予約の手間が省けると好評。本年度も新規登録する飲食店には、12月から半年分の利用料の補助を実施する。

問 村内移動手段は。  
答 引き続きナイトデマンドタクシーを運行

する。昼間の移動に関しても、タクシ業者者に「北アルプスあつみの交通圏」という営業区域の枠組みの中で、松本市、安曇野市、大町市から白馬村に1日40台程度の応援車両を派遣頂き、加えてUBER(ウーバー)やGOの配車アプリを応援車両に搭載する。

問 村内観光の利便性対策は。

答 マイポータル「白馬村顧客管理システム」の実装を行う。観光客がマイポータルを経由して、リフト券購入、レンタル申し込み、宿泊予約が可能となり、スキー場でリフト券購入のために列に並ぶ手間が省ける等、DX化の推進により村内観光の利便性を高めていきたい。



世界中で問題視されているオーバーツーリズム問題。  
我が白馬村も例外ではありませんが、この賑わいを継続していける対策を講じていただければ。

問 その他の観光財源確保策は。

答 宿泊税に限らず、日帰り客からの徴収を含めて複数の形も検討。ふるさと納税も重要な財源。

# 戦争時代の生活・教育 を示す副読本作成を

## 答 村に限定した資料は少ない、 先生と相談



加藤 亮輔

【教育現場での平和教育  
と人権を大切にする村づ  
くり】

## 問 今年には戦後79年。国内 でも広島・長崎に原爆

が投下され、広島で14万人、  
長崎で7万4,000人ま  
た、空襲で50万人が死亡。合  
計310万人以上が犠牲に  
なった。村内での戦争による  
被害状況は。

## 答 直接の軍事被害はな いが、食糧事情が窮迫

し、空き地は全て開墾され、  
野菜が植えられ、食料、生活  
物資不足の中、辛苦の生活を  
送った。白馬村遺族会の「国

の鎮め」の記録によると、  
232名の戦没者が記載、そ  
の9割が第二次世界大戦で  
の犠牲者。

## 問 1930年からの戦 争の中で子供たちに

伝えたい記録は「戦争体験を  
語り継ぐ」と「国の鎮め」戦  
没者の記録と「白馬の歩み」  
等。これらを基に、小・中学生  
が理解できる副読本を作り  
継承できないか。

## 答 平和、戦争に関するこ とは教科書にも載っ

ているが、村に限定した資料  
はほとんどない。地域の平和  
教育や、戦争体験を子供に読  
み聞かせ、調べることは大切。  
中学校の先生方と平和教育  
について話し合う場を設け  
たい。

## 問 松川村では、中学生4 名を本物に触れる貴

重な体験として、広島

記念式典に派遣。松本市では  
全中学校から男女1名ずつ  
40名を派遣、参加費は2泊3  
日で、個人負担は1万円。広  
島へ行って原爆ドーム、資料  
館等で本物を見る貴重な体  
験をする。本村でも、派遣す  
べきでは。

## 答 現場を見ることは大 事だと思う。県内には、

満蒙開拓平和記念館や松代  
大本営跡等、平和学習を取り  
組む施設がある。そこで、多  
くの生徒に戦争の歴史を学  
習する機会を増やしたい。今  
は、広島に送るということは  
考えていない。

## 問 来年の戦後80年の記 念イベントの内容は。

行事や冊子の作成計  
画については、公民館  
活動において平和教育とか、  
体験者の話を聞く講座を設  
けたい。

## 問 村は自衛隊に18歳と 22歳の個人情報を見

覧、名簿どちらで提供してい  
るか。

## 答 自衛官・自衛官候補生 の募集事務に利用す

るために必要な対象者の氏

名、生年月日、性別、住所の4  
情報を提供している。方法  
は、自衛隊が個人情報保護に  
関する法規を遵守し、適正な  
管理がなされる旨を確認し  
た上で、本年度からは住民基  
本台帳から募集対象者の4  
情報を抽出した名簿を提供  
している。

## 問 「広報はくば」8月号 に、自衛官募集を掲載

しているが、自衛隊から掲載  
を要請されたのか。

## 答 募集に ついて

は、国からの法  
定受託事務で、  
広報について  
は、自衛隊長野  
地方協力本部  
の指示に基づ  
いてやっている。  
る。

## 問 松本市 では、除

外申請要綱を  
つくっている。  
村も要綱を  
作って、村民の  
要望に応える  
考えはないか。



## 答 情報提供に対しては 法令がある。除外につ

いては何の法令も今はない。  
だんだん除外申請が増えて  
きているが、それぞれの市町  
村の考え方でやっている。

副読本づくりの参考書籍、『戦争体験を語り継ぐ・子供たちに伝えたい』  
『白馬の歩み』『白馬の歩みの写真集』 戦没者の記録『国の鎮め』  
『僕らの街にも戦争があったー長野県の戦争遺跡ー』等



加藤 ソフィー

## 問 誰でも気軽に行ける 里山整備を行う考えは

答 何かしらの形で取り組めるようにしたい

【生物多様性の保全と回復】  
現状と課題は。

答 H12年に白馬村版レッドデータブックが発行され、24年が経過している。

特にこの間は温暖化による影響が大きく、生態系への影響が心配される。人間活動や開発による生息環境の破壊、逆に人間活動が縮小したことなどによる中大型哺乳類の分布拡大などにより農作物などに影響が出ている現状。

問 取り組み状況は。

答 村天然記念物のギフチョウ類の監視パト

ロール、各地区や団体との協働による有害鳥獣や外来植物の駆除活動、緩衝帯整備を実施するほか、村民草刈りウィークの設定をしている。

開発に対しては、一定規模以上の開発において希少動植物の調査を行うことや在来種による緑化などを指導するなどしている。また、この春公表されたゼロカーボンロードマップにおいて、重要施策の一つに白馬の自然環境を生かした自然生態系、生物多様性の回復を掲げ、環境省が実施する30by30の取組に参画する自治体登録申請を行ない、本年6月に認定された。

問 レッドデータブックを市町村レベルで作成しているのは大変貴重なことであるが、環境は大きく変化した。そろそろ改訂版が必要なのでは。

答 文化財審議委員会や県環境保全協会とも連携して、毎年調査はしている。いつとは約束できないが、改訂版を作成する方向で検討したい。

問 ロードマップの中で環境再生型農業の普及啓発とあるが、具体的に

は。

答 有機JAS認定を取得した方に補助をしたり、ふるさと納税へのお米の出品には、県の環境にやさしい認証取得が条件となっている。また、農業振興地域に有機エリアを設定したいと考えており、オーガニックビレッジ宣言については今後研究したい。

問 ネオニコチノイド系農薬は、ミツバチの大量死の原因となっておりとも言われており、生態系や人体への影響が懸念されている。

答 農薬は、ミツバチの大量死の原因となっておりとも言われており、生態系や人体への影響が懸念されている。

る農薬で、欧米では規制が進んでいる。一方日本では、残留基準が緩和されたりしている中で、新潟県佐渡島はトキの復活・保護のためにネオニコチノイド系農薬を使用しないので有機や減農薬で稲作を行い、成功している。いきなり有機は難しいということであれば、ネオニコチノイド系農薬を使用しない認証制度を設けるなどして推進するのはどうか。

答 減農薬や有機に限定した市民農園を作るなど、小さなところから取り組みたい。

問 昔は本村にいなかった鹿や猿が、貴重な高山植物やライチョウが多い西山の高山に生息拡大してしまうのではないかと懸念している。現状と対策は。

答 残念ながら目撃情報もあり、生息は拡大



木流川公園の飛来したアサギマダラ  
世界の生物多様性は今急速に失われています。

問 野生生物の生息域の拡大を食い止めるには里山の整備は非常に重要。今や里山の役割は世界的にも注目されている。誰でも気軽に行けるような明るく循環するSATOYAMA整備を行う考えは。

答 村長 今すぐにやることは言えないが、何かしらの形でそのような取組ができればいいと私も考えている。前向きに検討したい。

## 問 広報DXは中途半端！ 情報発信少なすぎ

答 配信出来ていない情報はまだまだある



丸山 勇太郎

## 【広報・広聴】

問 声の広報「防災はくば」に、DX以前と比べてどんな工夫をしているか。

答 放送案件・回数ともこれまでと同じで何も変えていない。

問 公式メールや、公式LINEへの情報発信が少ない。なぜ声の広報並みに日々のお知らせを届けなのか。また、情報のプラットフォームはどれか。

答 公式ホームページが情報のプラットフォームという位置づけ。メールへは「防災はくば」と連動した防災情

報のプラットフォームという位置づけ。メールへは「防災はくば」と連動した防災情

答 今年度は全地区と行うことで各区長に通知した。

問 松川村の広報アプリ「まつナビ」をみて今回の質問をした。広報DXは、いかに情報をスマホに見やすく早く届けるかに尽きる。「まつナビ」はとても見やすい。DX推進チームでアプリとLINEを十分比較検討していない節があるが、若者はLINE慣れしているから一概に否定はしない。ただし、白馬村はLINEで行くなら行くで、もっと情報を出さないとダメでは。

答 LINEは、出し過ぎるとブロックされると

欠点があるが、情報発信には努めていきたい。

問 若い世代が、住みたい、家を持ちたい、移住先

に選ぶということに関しては、この村は魅力を失いかけている。選ばれない自治体になっ

るものが欲しい。そこで提案するが、神城断層地震を経験した村として、中途半端な防災無線デジタル化と広報DXに、もう更に予算をかけ、災害備蓄品や備蓄倉庫も増やし、防災だけ

答 村長 一つ抜きん出た

ということではなく、村として出来ることは全てやらなければならないと思っている。土地開発公社の活用も何とかしたいし、防災も

子育で支援の新施設を建てても、子育て世代の住宅問題の解決策がなければ、やっぱり選ばれない。土地開発公社を活用して若い世代向けの宅地分譲が出来ないか質問しているが、やらない理由を作るばかり。これでは農振の総合見直しもおぼつかない。行政施策で何か抜き



見やすい松川村の公式アプリ「まつナビ」  
広報DXのプラットフォームとは、これ！

## 議会だより150号の発刊を祝して



白馬村村長

**丸山 俊郎**

議会だよりの創刊150号、誠におめでとうございます。

議会だよりは昭和62年9月15日に発刊されて以来、37年もの長きにわたり議会の活動状況を広く村民に提供し、村民と議会の架け橋として村政の進展に大きく貢献してきました。編集、発刊に携わられました歴代の議員各位の皆様は、村民に親しまれる紙面づくりに日々努めてこられました。その熱意とご尽力に深く敬意と感謝の意を表します。

白馬村議会では、平成29年3月に白馬村議会基本条例を制定されました。村民の期待と負託に応えるために取り組まれている議会改革の一つとして、村内各種組織や団体との懇談会、村民との意見交換会による公聴活動や、議会報やホームページによる広報活動に力を入れていच्छいます。

この開かれた議会の実現のために欠かすことのできないツールの一つとして、議会だよりがあります。本会議や委員会等で審議した村政に係る案件を村民の皆様にお届けする重要な役割を担っているものであり、村民にわかりやすい議会を念頭に編集され、村民の視点を意識した的確な情報公開と説明責任が十分に果たされているものと思っております。

創刊150号という節目を契機に、議会広報活動が更に飛躍されるとともに村議会の益々の発展をご期待申し上げます。



白馬村村議会議長

**太田 伸子**

議会報発刊150号を記念し、議会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

北陸能登地方は本年元旦に発生した能登半島地震で甚大な被害を受け復旧途中、9月豪雨により再被災されました。心の痛む災害であります。亡くなられた方々のご冥福と、負傷された方々、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願うところであります。

白馬村も神城断層地震から10年が経ちました。昨年は黒豆沢の土砂流出の被害もありました。大きな地震を体験した私たちは、地震や、災害の報道はわが身の事として心配するところです。

さて、議会報は行政との橋渡し役を担わせていただいている議会が、行政とともに住みよい村、安心・安全な村づくりのために、年4回、定例会が終わるごとに発行しています。37年余り、先輩議員の皆様から引き継ぎ発刊しています。積極的に行政運営を皆様に、皆様の声を村政に届けるよう努めてまいります。

我々議員は、村民皆様の代表であることの自覚を再確認し、議会の活動状況や審議内容を、正しく詳しくお伝えし、充実した議会報づくりを目指します。

今後とも、議会に対して更なるご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

## スマホアプリで白馬議会だより配信中！

**マチイロ**

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！

▶ [gikai@vill.hakuba.lg.jp](mailto:gikai@vill.hakuba.lg.jp)

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

## わたしのひとこと



### 住みたいと思える白馬村へ

飯田 横川 仁美

白馬村は美しい自然環境と豊富なアウトドア活動が魅力的で、子育てや移住を検討する人々にとって魅力的な地域だと思います。

自然に囲まれた生活は子ども達にとって感性や創造力を育み、四季折々の体験を通じて自然を学ぶ機会が多いことも白馬村の子育て環境の大きな魅力です。

白馬村が若者やファミリー層にとって住みやすい場所となる為には、公園や屋内の遊び場、教育施設や医療施設の拡充といった暮らしやすい環境を整えたいと思います。

また、移住者向けの支援体制の強化や子育て世代のサポートの強化に取り組む事で、白馬村は"観光地"としてだけではなく、住む場所としてより多くの若者やファミリー層が「白馬村に住みたい」と感じられるように期待をしています。



### 仲間と共にリフレッシュ！

みそら野 杉山 都貴子

40代のはじめ、生まれ育った名古屋から、ペンション経営のために家族と共に白馬に移住して、もう30年になろうとしています。

白馬に来てすぐに、ミニバレーボール、ソフトバレーボールの同好会に入り、週に1~2回、思い切り汗を流しました。

また、50歳を過ぎてからは、健康太極拳同好会を立ち上げ、ふれあいセンターなどで毎週練習に励みました。指導の先生が引退されたあとも、生徒の仲間達で、週一回の健康体操会を続けています。

白馬のきれいな空気を吸い込んで行う運動は、本当に気持ち良く、心身共にリフレッシュできます。健康はもとより、友人知人もたくさんでき、幸せな30年を送れたと思うこの頃です。これを支えてくれた主人にも感謝しています。これからも、今の自分に合った運動をずっと続けていきたいと思っています。



### 土に暮らして

新田 星野 奈々

白馬で子育てをしようとしてここに移住して10年。ご縁を頂き築100年以上の古民家を修繕しながら住み始め丸2年経とうとしています。ここに決めたのは、念願であった景色が良い事、家の前に畑が付いてきた事、おまけにやってみたかった田圃がついていたから。

私は炭素循環農法という、農薬や肥料に頼らず畑の土を豊かにする事を目指した農法で、家庭菜園をしている。野菜を収穫すれば土の養分を使ってしまう。この農法では畑に生えている草等は外へ持ち出さず、そのまま土に重ねて行くと、キノコの菌床や微生物が分解してくれ、また土となり循環し土がどんどん養分豊かになっていくのです。実際に畑に生える草が、養分豊かな土にしか生えない草に変わってきています。

この大好きな白馬の地を、消費するだけでなく豊かにし、返して行けたら最幸だと思います。

## あとがき

国・県・村道の路肩や歩道の草刈りが行き届いていない。白馬村に車で入ってきて評判どおりのリゾート地に来たと感じてもらえるだろうか？ ガードレールや路側帯、縁石は草に隠れ、待避所の草影は不法投棄されたゴミであふれている。見えない橋げたの裏には落書きもあり、持続可能な観光地には程遠い有り様だ。

草刈り一つとっても社会環境を整えていくことは、訪ねて来る人にも、暮らす人にとっても、安全安心な社会の礎となる。除雪のように草刈りも公共事業としていくべきで、道路の維持管理は行政の大事な仕事ではないか。

(津滝俊幸)

| 議会広報特別委員会 |     |      |    |
|-----------|-----|------|----|
| 議長        | 委員長 | 副委員長 | 委員 |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
| 〃         | 〃   | 〃    | 〃  |
|           |     |      |    |